

主な意見と対応

項目	主な意見	対応
植栽関係	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木が多いと維持管理費の増大が懸念される。 ・花の咲く樹を採用してもらいたい。 	当初計画の 49 本から高木常緑樹を中心に 34 本程度配置することとした。花木やシルエツトも採用することとします。
イベント広場	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなイベントが出来るよう広場を広くしてもらいたい。 ・イベント用に電源、水源を確保してもらいたい。 	イベント広場については当初の 300 m ² から 500 m ² に拡充。また、各種イベントに対応できるよう電源等の設備を設置。
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応のため防災倉庫を設置してもらいたい。 ・多機能街路灯の設置をしてもらいたい。 	トイレに防災用の倉庫を設置するほか停電時でも点灯するような多機能街路灯を各所に配置。
水景施設	<ul style="list-style-type: none"> ・レインガーデンは水が流れるようにしてもらいたい。 	常時水が流れるよう必要な設備を設置。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージを設置してもらいたい。 	情報表示を可能とし公衆無線 LAN を備えたデジタルサイネージを設置。

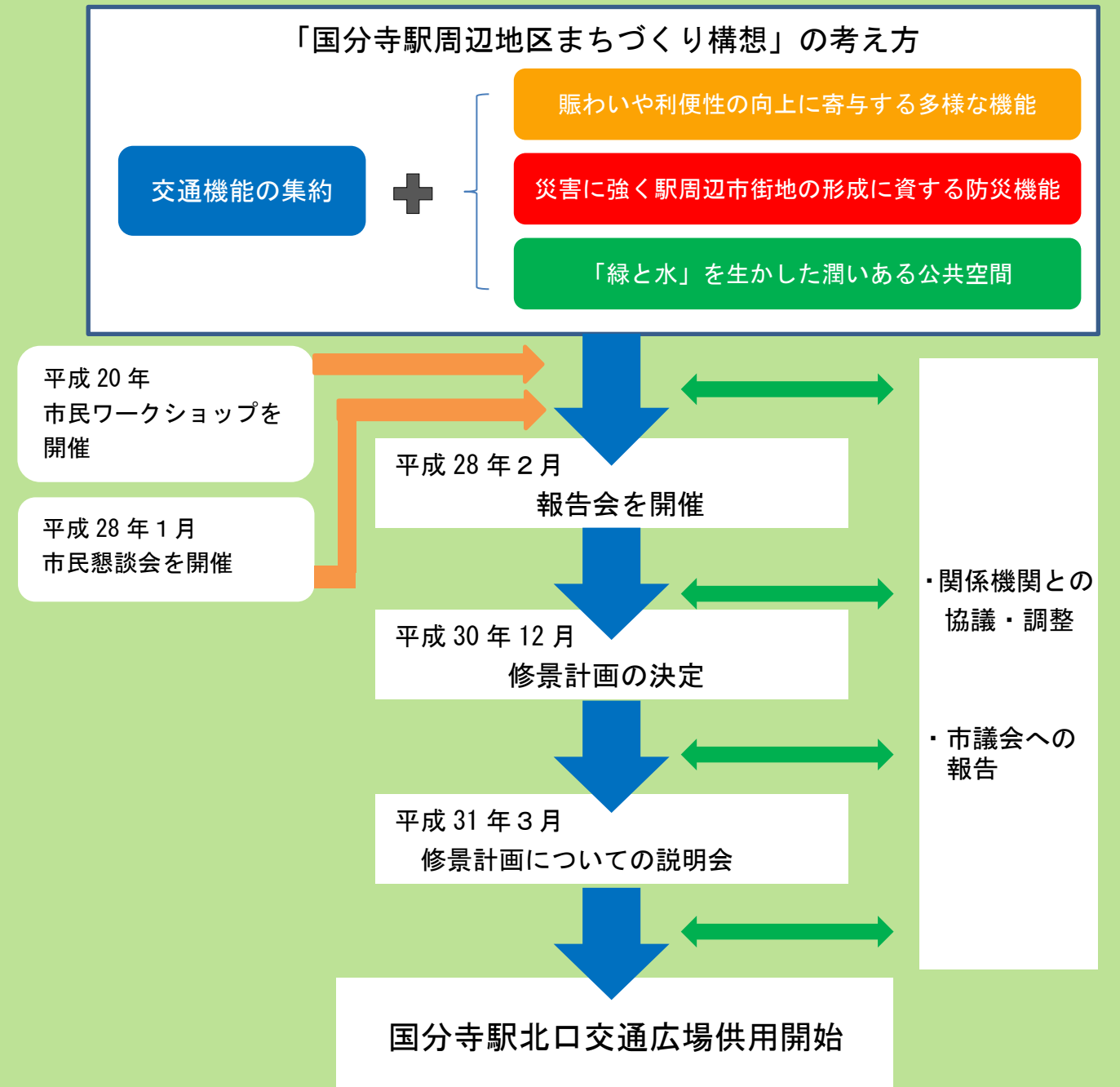
今後の検討事項

- 点字ブロック、階段の手すり、各種サインの設置位置など歩行者動線に関わる具体的内容については、関係団体への意見を聞くなど施工中を含めて引き続き利用者の視点に立ち検討を進めます。
- 植栽計画を定めるにあたり、樹種、樹高、配置等の詳細な検討を進めます。
- 防災関係や情報発信に関する設備、クラウドファンディングの導入により市民や利用者、事業者等多くの皆さまから協力を募り返礼品として設置する予定の銘盤の詳細など運用面と合わせて引き続き検討を進めます。

～国分寺駅北口交通広場の修景計画について～

国分寺駅北口修景計画の考え方や経過

国分寺駅北口交通広場の修景計画については、平成 19 年に策定した「国分寺駅周辺まちづくり構想」の考え方を踏まえ、以下の通り進めてきました。



【お問い合わせ先】

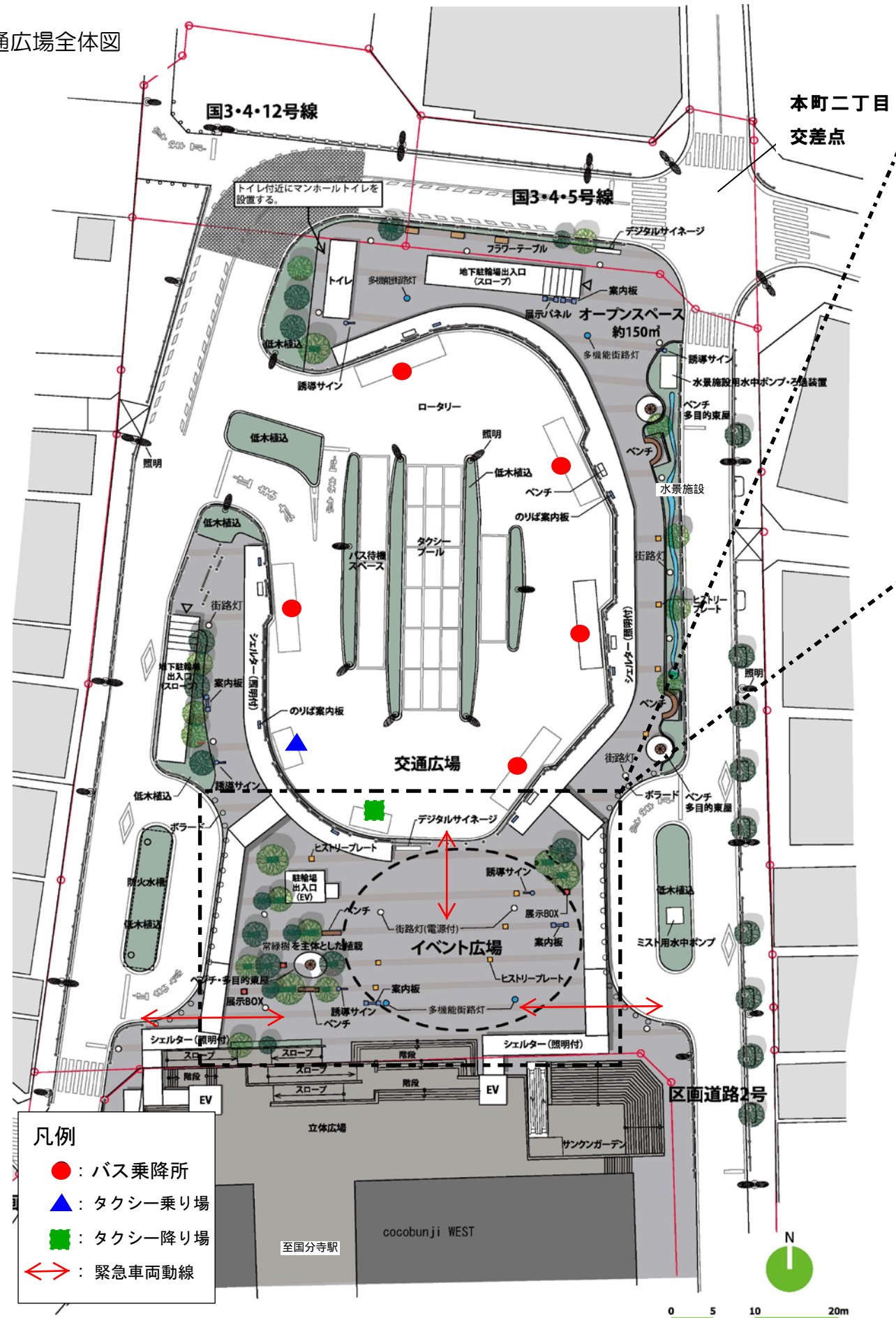
国分寺市まちづくり部駅周辺整備課（市役所第 5 庁舎 2 階）
〒185-8501 国分寺市戸倉 1-6-1
☎042-325-0111（代表） FAX:042-323-9060
メール：ekiseibi@city.kokubunji.tokyo.jp

平成 31 年 3 月

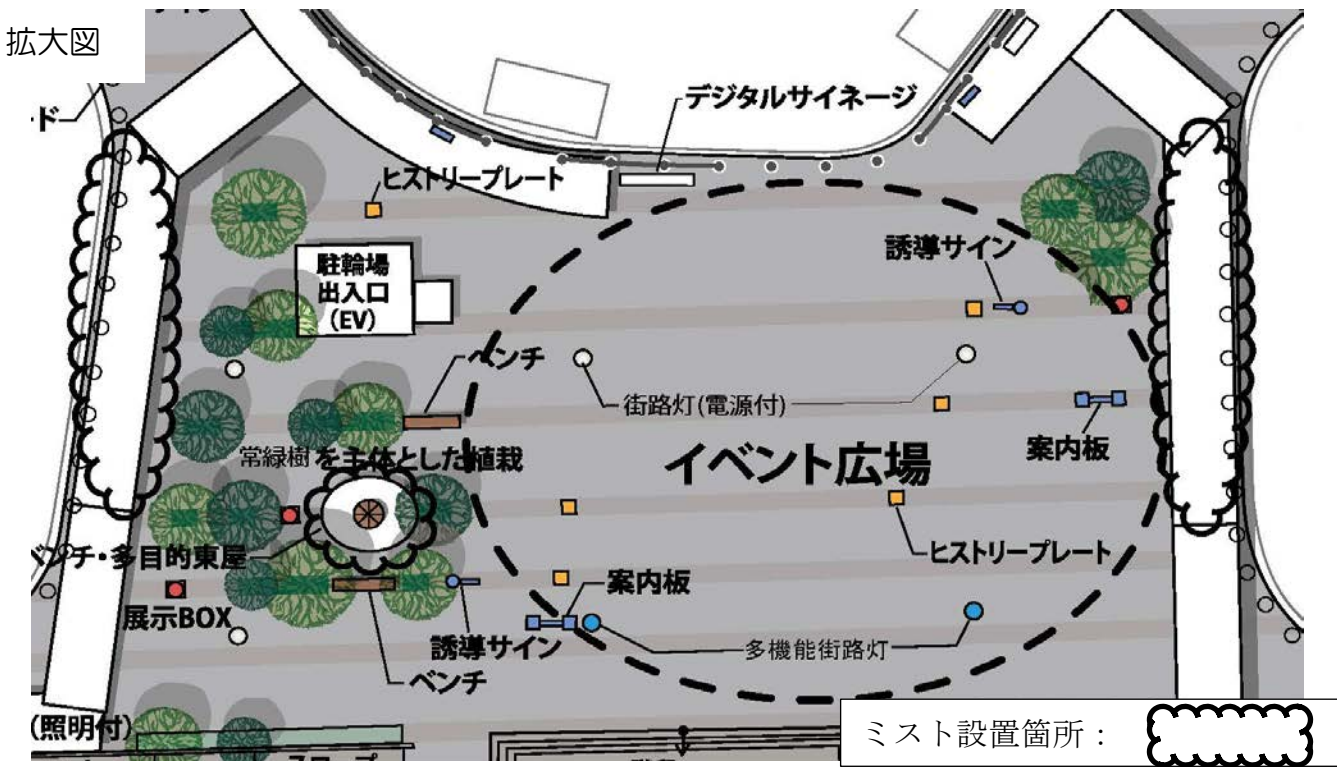
「修景（しゅうけい）」とは？

- 元来は造園上の用語で庭園美化などを意味するが、近年は建築物や公共施設の形態・意匠・色彩を周囲の町並みに調和させることやストリート・ファニチャーの配置など、都市計画的な景観整備一般を示すことが多い。「ランドスケープ」ともいう。
- 出典（環境省 環境影響評価情報支援ネットワーク「環境アセスメント用語集」）

交通広場全体図



拡大図



交通広場の機能

賑わい・利便性

- ・交通広場南側に 500 m²程度のイベント広場と、北側に 150 m²程度のオープンスペースを設けます。
- ・情報表示を可能とし、デジタルサイネージの設置や国分寺を代表するモチーフを歴史プレートとして路面に表示します。



●歴史プレートイメージ

- ・休憩施設として東屋やベンチを各所に設置する。また、東屋やシェルターにミストを設置し、憩いと交流の場を提供します。

防災

- ・停電時でも点灯する機能を備えた多機能街路灯を交通広場各所に配置します。
- ・災害時に有効となるマンホールトイレや防災用品の備蓄が出来る倉庫をトイレに併設します。



●マンホールトイレイメージ

- ・緊急車両の寄り付きが可能になるよう、シェルターの一部を取りやめ、災害時の安全性の確保を図ります。

緑と水

- ・植栽については、ソヨゴ、シラカシなどの高木常緑樹を中心に配置し、強風対策とともに再開発ビルとの一体的な都市景観の創出を図ります。



- ・維持管理上の問題を考慮しつつ、花木や国分寺ブランドのシルエットも配置します。

- ・交通広場東側に用水・湧水をイメージした水景施設を設置し、常時水の流れを作り親水空間として利用者へ潤いを提供します。